

ハーベスト アジア フロンティア株式ファンド

追加型投信／海外／株式

交付運用報告書

第7期(決算日:2018年10月25日)

作成対象期間(2017年10月26日～2018年10月25日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「ハーベスト アジア フロンティア株式ファンド」は、2018年10月25日に第7期の決算を行いました。

当ファンドは、主として外国投資信託証券「ハーベスト・アジア フロンティア エクイティファンド クラスJ」への投資を通じて、アジア フロンティア諸国へ実質的に投資することで、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざして運用を行いました。ここに期中の運用状況と収益分配状況についてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

第7期末(2018年10月25日)

基準価額	12,365円
純資産総額	1,985百万円
第7期	
騰落率	△7.9%
分配金(税込み)合計	0円

(注1) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注3) 当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択⇒「目論見書・定期レポート等」を選択⇒「運用報告書(全体版)」より該当の決算期を選択ください。

 SBI Asset Management

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木 1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間:営業日の9:00～17:00

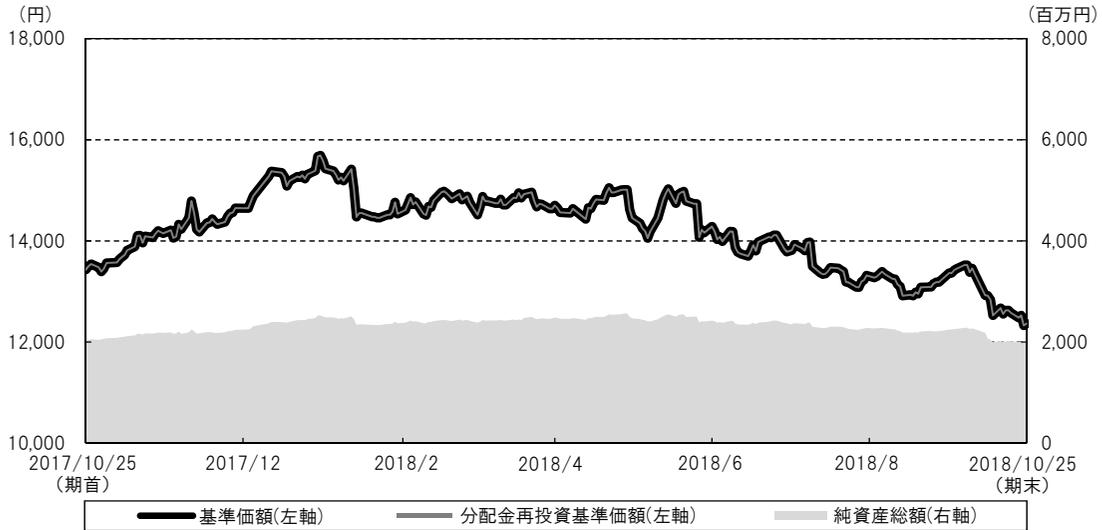
ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<http://www.sbiam.co.jp/>

運用経過

基準価額等の推移

(2017年10月26日～2018年10月25日)



期 首：13,430 円
 期 末：12,365 円 (既払分配金(税込み):0 円)
 騰 落 率：△7.9% (分配金再投資ベース)

- (注1) 当ファンドにはベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、ベンチマーク、参考指数を記載しておりません。
 (注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したとみなして計算したファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注3) 分配金の再投資についてはお客様がご利用のコース等により異なります。また、ファンドの運用経過については、当ファンドのパフォーマンスを示したものであり、ファンドの購入価額により課税条件等が異なるため、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注4) 分配金再投資基準価額は、期首(2017年10月25日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

バングラデシュ、モンゴル、スリランカ、ベトナム、中国等のアジア・フロンティア株式やフロンティア関連株式等の上昇、為替の円安進行など

下落要因

バングラデシュ、モンゴル、スリランカ、ベトナム、中国等のアジア・フロンティア株式やフロンティア関連株式等の下落、米中貿易摩擦の激化や中国の景気減速への懸念による世界的な株価急落、為替の円高進行など

1 万口当たりの費用明細

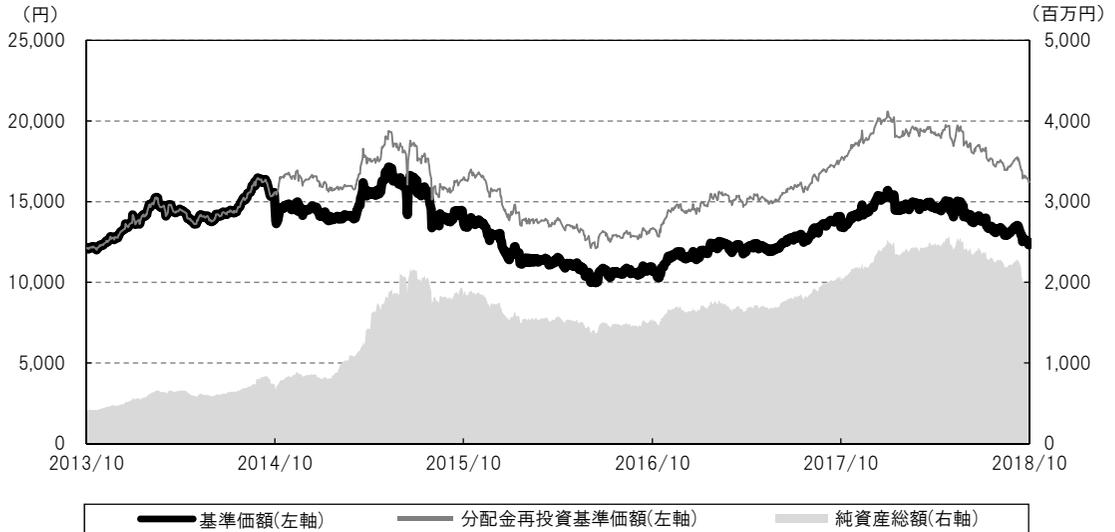
(2017年10月26日～2018年10月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 206	% 1.447	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投 信 会 社）	(92)	(0.648)	委託した資金の運用の対価
（販 売 会 社）	(108)	(0.756)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(6)	(0.043)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	12	0.085	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(3)	(0.021)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印 刷）	(9)	(0.064)	開示資料等の作成・印刷費用等
（そ の 他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	218	1.532	
期中の平均基準価額は14,222円です。			

- (注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。
(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入しております。
(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。
(注5) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。
当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」
に表示しております。

最近5年間の基準価額等の推移

(2013年10月25日～2018年10月25日)



- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したとみなして計算したファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金の再投資についてはお客様がご利用のコース等により異なります。また、ファンドの運用経過については、当ファンドのパフォーマンスを示したものであり、ファンドの購入価額により課税条件等が異なるため、お客様の損益の状況を示すものではありません。

	2013年10月25日 決算日	2014年10月27日 決算日	2015年10月26日 決算日	2016年10月25日 決算日	2017年10月25日 決算日	2018年10月25日 決算日
基準価額 (円)	12,141	13,801	13,611	10,700	13,430	12,365
期間分配金合計(税込み) (円)	2,000	1,800	1,000	300	700	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	40.8	28.5	5.9	△19.2	32.1	△7.9
純資産総額 (百万円)	380	662	1,834	1,506	1,984	1,985

(注1) 当ファンドにはベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、ベンチマーク、参考指数を記載していません。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

投資環境

(2017年10月26日～2018年10月25日)

※以下の内容は、本ファンドの主要投資対象である「ハーベスト アジア フロンティア エクイティ ファンド クラスJ」受益証券（以下、ハーベストAFエクイティファンドと言います。）を運用するハーベスト グローバル インベストメント リミテッドからのコメントをSBIアセットマネジメント株式会社が和訳・編集したものです。

2017年10月から2018年9月までのアジア・フロンティア市場の投資環境(株式市場・外国為替市場)

当期のアジア株式市場は、主に2つの事象によって不安定な動きとなりました。1つ目は、市場が1月にピークを迎えて、利益確定売りによって下落基調で推移したことです。「5月に売り抜ける」の相場格言と符号するように、5-6月の市場は大きく下落し、軟調な展開となりました。中国のように時価総額が比較的大きな市場では、昨年の堅調な経済指標による好ましいニュースフローから一転して、米中貿易戦争の懸念に見舞われました。その後は米中の激しい応酬へと発展し、中国市場に大きな影響を与え始めました。特に、中国A株市場の銘柄は、成長鈍化や流動性の影響を懸念する投資家心理の悪化を受けて売られました。

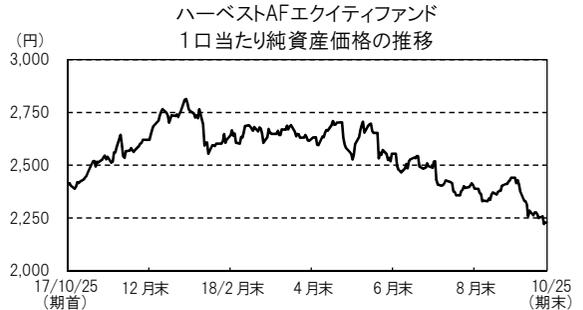
2つ目は、米連邦準備制度理事会(FRB)が政策金利の本格的な引き上げ局面に入ったことにより、日本を除くアジア市場全体と、アジア・フロンティア市場の通貨の動向が類似し、これらの通貨が対米ドルで弱含んだことです。こうした通貨安は、アジア域内やアジア・フロンティア市場における投資家のリスク選好度をさらに低下させました。しかしながら、投資家のリスク選考の全てが失われたわけではなく、いくつかのフロンティア市場はプラスのリターンとなりました。

個別で見ると、ベトナム市場では外国人による保有制限の引き上げや銀行・不動産セクターにおける大規模な新規上場(IPO)によって、外国人投資家が急増しました。この外国人投資家の市場参加率急増により、過去最高値を更新するなどアジア・フロンティア5カ国で最も高いリターンを上げました。また、4月からの利益確定売りにもかかわらず、ベトナム市場が依然としてプラスの収益率となったのは、米中貿易戦争に直面した製造業者が製造拠点を多様化させることによって、ベトナムが潜在的な受益者となる可能性があることに投資家が着目したためです。

バングラデシュ市場は、中央銀行が市中銀行に対して預貸率を引き下げるように指示を出したため、金融システムにおける流動性逼迫懸念から、軟調に推移しました。このような動きによって銀行間での預金獲得競争が激化し、銀行は大幅な預金金利の引き上げを迫られました。こうした比較的高い預金利率は当面維持され、米国の利上げと相まって、バングラデシュ経済に大きな影響を与えました。現在、流動性の逼迫懸念は和らいでおり、市場の注目は第4四半期に予定されている総選挙に移行しました。

スリランカ市場も、バングラデシュ市場と同様に軟調に推移しました。スリランカ市場は投資家の関心が低下したことや、米国の利上げと原油高の悪影響が相まったことが下落の要因となりました。また、スリランカの景気減速の一因は、現大統領による国家財政の不適切な管理を野党側が告発したことによるものでした。

一方、銅や石炭などのコモディティ価格の回復は、カザフスタン市場やモンゴル市場などコモディティ主導の市場の収益率を大きく押し上げました。しかしながら、米中をはじめとする貿易戦争が世界経済の成長を鈍化させるとの見通しから、利益確定売りに押されました。特にカザフスタン市場の下落は、株価指数に占める比重の大きい



(注1) グラフは、BNPパリバ セキュリティーズ・サービスが算出した数値に基づいています。

(注2) 報酬(固定報酬・成功報酬)控除後の数値です。

(注3) 純資産価格は、翌営業日の「ハーベスト アジア フロンティア 株式ファンド」の基準価額に反映されます。

銅生産企業が政治的に複雑な背景を持つロシア企業の買収を突然発表したことを受けて、同銘柄の急落が足かせとなったものです。

当ファンドのポートフォリオ

(2017年10月26日～2018年10月25日)

当ファンドは、2011年10月28日に運用をスタートし、当期は第7期となります。当ファンドは設定日以降、外国投資信託(円建て)「ハーベストAFエクイティファンド」を高位に組入れています。当期の基準価額(分配金込み)は△7.9%の下落となりました。

以下の内容は、ハーベストAFエクイティファンドのポートフォリオについてです。

※ハーベストAFエクイティファンドを運用するハーベスト グローバル インベストメント リミテッドからのコメントをSBIアセットマネジメント株式会社が和訳・編集したものです。

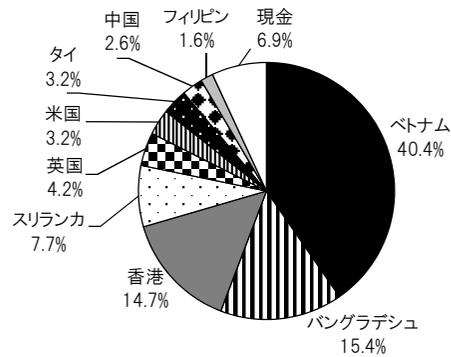
当期のハーベストAFエクイティ・ファンドは、絶対収益ベースで約+5%のリターンを上げました。中国とバングラデシュといった市場におけるフロンティア関連株式の銘柄選択効果が主に当ファンドの収益にプラスに寄与しました。

中国関連銘柄に関しては、カンボジアやベトナムに工場を保有し、スポーツウエア・メーカーから記録的な受注を獲得しているシェンジョウ・インターナショナルのような一般消費財セクターの保有銘柄がもっとも堅調に推移しました。

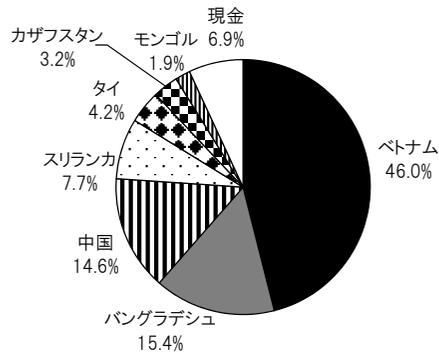
バングラデシュ銘柄に関しては、生活必需品セクターのようなディフェンシブセクターが、ファンド収益を下支えしました。

当期の株式市場は価格変動率が大きくなりましたが、流動性の観点からみた取引環境は、比較的良い日も悪い日も同程度の地合いとなりました。

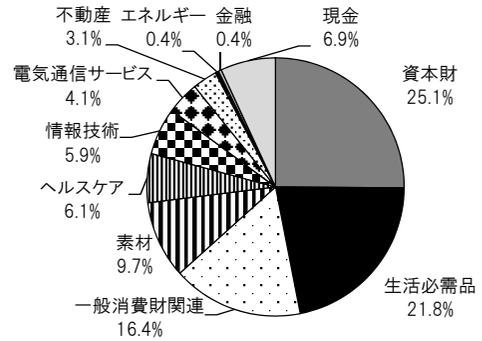
投資市場別構成比率(2018年9月末現在)



投資対象国・地域別構成比率(2018年9月末現在)



セクター別構成比率(2018年9月末現在)



組入上位5銘柄(2018年9月末現在)

銘柄名	投資対象国・地域	業種	構成比
ベトジェットエア	ベトナム	資本財	10.5%
ベトナムデリー	ベトナム	生活必需品	8.7%
シェンジョウ・インターナショナル・グループ・ホールディングス	ベトナム	一般消費財関連	5.7%
ベトナム空港総公社	ベトナム	資本財	5.5%
プリティッシュ・アメリカン・タバコ・バングラデシュ	バングラデシュ	生活必需品	4.6%

(注1) 「投資対象国・地域」は、実際の上場取引所の国々とは必ずしも一致しません。

(注2) 当ファンドの純資産総額に対する比率です。

(注3) ハーベストAFエクイティファンドのデータにつきましては、ハーベスト グローバル インベストメント リミテッドのデータを基にSBIアセットマネジメントが作成しております。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2017年10月26日～2018年10月25日)

当ファンドにはベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、ベンチマーク、参考指数を特定しておりません。

分配金

(2017年10月26日～2018年10月25日)

当期は、当ファンドの分配方針に基づき、収益分配可能額(配当等収益額から経費等を控除)を算出し、市況動向や基準価額の水準などを考慮した結果、当期の収益分配は行わないことといたしました。

なお、収益分配に充てなかった利益につきましては、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第 7 期	
	2017年10月26日～ 2018年10月25日	
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%	
当期の収益	—	
当期の収益以外	—	
翌期繰越分配対象額	2,364	

(注1) 対基準価額比率は、当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金(税込み)と一致しない場合があります。

今後の見通しと運用方針

<当ファンド>

当初の運用方針通り、ハーベストAFエクイティファンドの投資を通じ、信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行います。

<ハーベストAFエクイティファンド>

※ハーベストAFエクイティファンドを運用するハーベスト グローバル インベストメント リミテッドからのコメントをS B I アセットマネジメント株式会社が和訳・編集したものです。

2018年も終盤に入り、11月初めに行われる米国の中間選挙が近づくにつれて、貿易戦争に関する報道が市場を動かすのではないかと警戒しています。悲観的な外部環境の中、バリュエーションが魅力的との観点から下支えされ、市場が安定していることによって、慎重ながらも楽観視するという我々の見立てが現実化し始める可能性があります。

企業の業績が発表され始め、前四半期は良好な内容が報告されています。長期的には堅調な企業業績が評価され、相対的に過小評価されたアジア市場が引き続き他の地域を上回る収益率を上げると考えています。しかしながら、アジア域内のファンダメンタルズ(経済の基礎的条件)が我々の見立て通りにならず、弱気相場で買い向かうことになった場合、私たちは引き続き市場を注意深く見守り、利益確定売りを行います。今年の戦略のスローガンは「弱気相場で買い、強気相場で売る」となりそうです。

我々は引き続き、投資資金フローの観点から、比較的規模の小さい東南アジア市場やアジア・フロンティア市場は、世界経済の成長の恩恵を受け始めるという見方を示しています。また、米国と中国の貿易戦争が勃発した場合、米国と中国の企業は生産を分散し、アジア・フロンティア地域からそれぞれ調達する必要があるかもしれません。

製造業、インフラ、消費、観光といった我々の構造的・長期的な投資テーマは、引き続き変わっておりません。米中貿易戦争や米国の利上げなどによる短期的な先行き不透明感は、依然として続くでしょう。短期的にはアジア市場は二番底を見に行くと考えられていますが、アジア・フロンティア市場はアジア市場に比べて世界の投資マネーの影響を受けにくく、時価総額の比較的大きいアジア域内の他市場の収益率を上回る可能性があることから、慎重ながらも楽観的な見通しを維持しています。

アジア・フロンティア市場は、依然として外国人投資家による十分な投資が行われていない状態が続いています。米中貿易戦争が解決しない場合、中国からアジア・フロンティア地域へ製造業の雇用の移転が加速し、そうした事象によりアジア・フロンティア市場の株価が下支えされたとしても、驚くようなことではないと考えています。

お知らせ

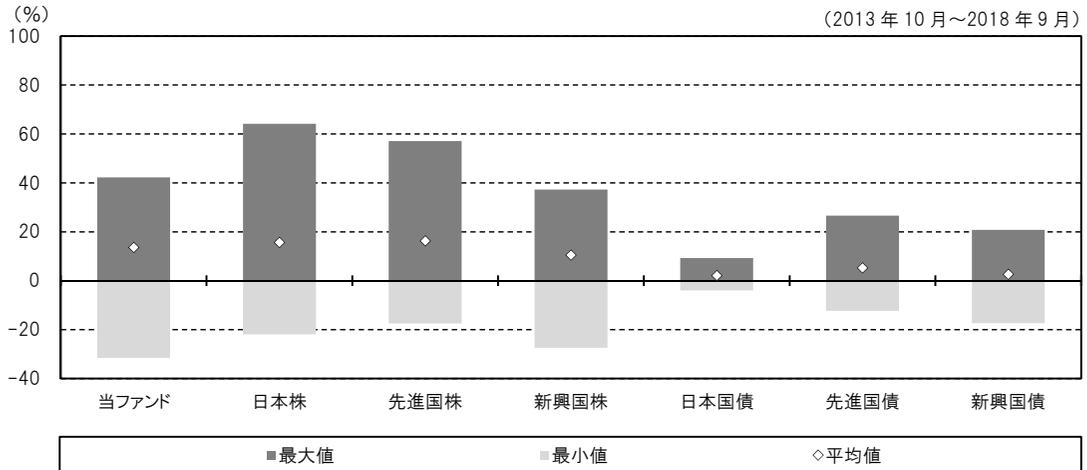
該当事項はありません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限(2011年10月28日設定)
運用方針	投資信託財産の中長期的な成長を図ることをめざして運用を行います。
主要投資対象	主として、外国投資信託「ハーベスト・アジア フロンティア エクイティファンド クラスJ」受益証券と「FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)」受益権を主要投資対象とします。
運用方法	①投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 ③株式への直接投資は行いません。 ④デリバティブの直接利用は行いません。ただし、本ファンドが投資対象とする外国投資信託証券においてデリバティブを利用する場合があります。 ⑤投資信託証券、短期有価証券および短期金融商品等(短期投資を目的とする公社債等の有価証券を含みます。)以外への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時(原則10月25日。ただし、休業日の場合は翌営業日)に繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とし、委託者が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わない場合があります。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	42.2	64.2	57.1	37.2	9.3	26.6	20.8
最小値	△ 31.6	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4
平均値	13.6	15.7	16.3	10.5	2.1	5.3	2.7

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2013年10月から2018年9月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注4) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株:東証株価指数(TOPIX)(配当込み)

先進国株:MSCI KOKUSAI インデックス(配当込み、円ベース)

新興国株:MSCI エマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)

日本国債:NOMURA-BPI 国債

先進国債:FTSE 世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

新興国債:JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数についての詳細は、最終ページをご参照ください。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2018年10月25日現在)

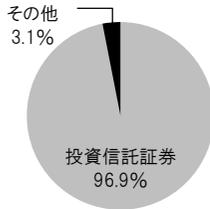
○組入上位ファンド

銘柄名	第7期末
	%
ハーベスト・アジアフロンティア エクティティファンド クラスJ	96.9
FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)	0.0
組入銘柄数	2銘柄

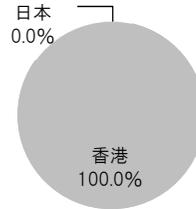
(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

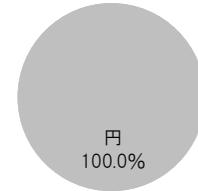
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 資産別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分は組入株式評価額に対する比率です。

(注3) 国別配分は発行国を表示しております。

(注4) 通貨別配分は組入投資信託証券の株式評価額に対する比率です。

純資産等

項目	第7期末
	2018年10月25日
純資産総額	1,985,200,250 円
受益権総口数	1,605,534,184 口
1万口当たり基準価額	12,365 円

(注) 期中における追加設定元本額は741,149,030円、同解約元本額は613,078,004円です。

組入上位ファンドの概要

ハーベスト・アジア フロンティア エクイティファンド クラスJ

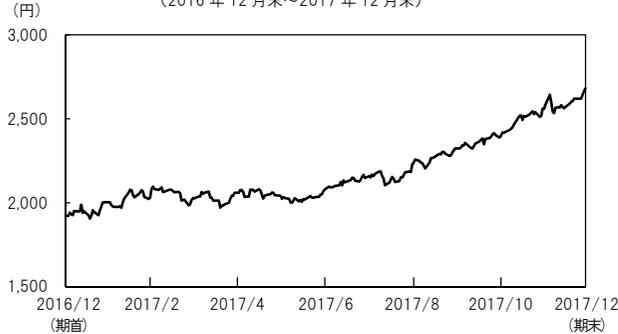
作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書を基に作成しております。

【1口当たり純資産価格の推移】

(2016年12月末～2017年12月末)

【1万口当たりの費用明細】

入手可能な費用明細のデータが存在しないため、掲載しておりません。



- (注1) 設定日の1口当たり純資産価格は1,000円です。
- (注2) 報酬(固定報酬・成功報酬)控除後の数値です。
- (注3) グラフは、BNPパリバ セキュリティーズ・サービスが算出した数値に基づいています。
- (注4) 上記純資産価格は、「ハーベスト アジア フロンティア株式ファンド」の翌営業日の基準価額に反映されます。

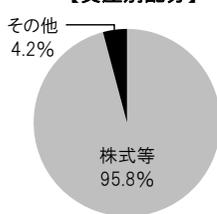
【組入上位 10 銘柄】

(2017年12月末現在)

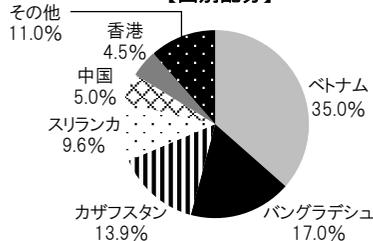
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率(%)
1	KAZ MINERALS PLC	素材	英国・ポンド	カザフスタン	10.06
2	VIETNAM DAIRY PRODUCTS JSC	生活必需品	ベトナム・ドン	ベトナム	9.69
3	VIETJET AVIATION JSC	資本財	ベトナム・ドン	ベトナム	9.65
4	AIRPORTS CORP OF VIETNAM JSC	資本財	ベトナム・ドン	ベトナム	8.44
5	BRITISH AMERICAN TOBACCO BANGLADESH CO L	生活必需品	バングラデシュ・タカ	バングラデシュ	4.67
6	SAIGON BEER ALCOHOL BEVERAGE CORP	生活必需品	ベトナム・ドン	ベトナム	3.85
7	KAZMUNAIGAS EXPLORATION PRODUCTION JSC	エネルギー	英国・ポンド	カザフスタン	3.81
8	GRAMEENPHONE LTD	電気通信サービス	バングラデシュ・タカ	バングラデシュ	3.20
9	DHG PHARMACEUTICAL JSC	ヘルスケア	ベトナム・ドン	ベトナム	2.95
10	SQUARE PHARMACEUTICALS LTD	ヘルスケア	バングラデシュ・タカ	バングラデシュ	2.79
組入銘柄数				32 銘柄	

- (注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。
- (注2) 国(地域)は実際の上場取引所の国々とは必ずしも一致しません。

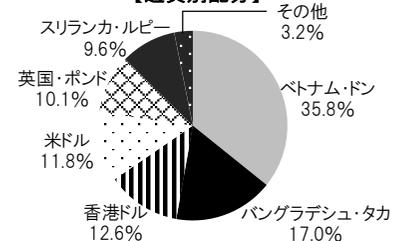
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】

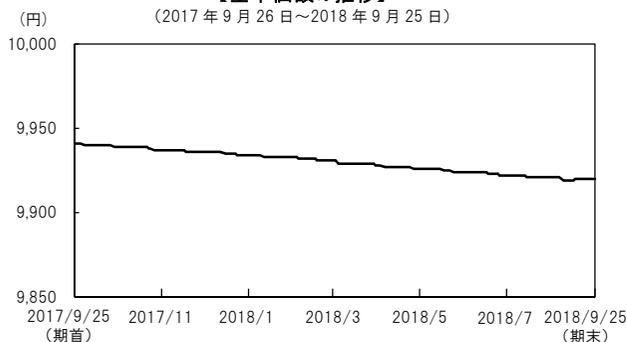


- (注1) 組入銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは、2017年12月末現在のものです。
- (注2) 資産別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合、国別・通貨別配分の比率は投資信託証券の評価額合計に対する割合です。

FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)

作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書を基に作成しております。

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2017年9月26日～2018年9月25日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 信託報酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 銀 行)	14 (11) (1) (2)	0.140 (0.108) (0.011) (0.022)
(b) その他費用 (監 査 費 用) (そ の 他)	0 (0) (0)	0.005 (0.002) (0.002)
合 計	14	0.145

(注) 上記項目の概要につきましては、P2をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

(2018年9月25日現在)

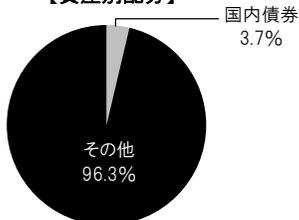
銘柄名	国/地域	比率(%)
1 第316回中国電力株式会社社債	日本	1.2
2 第424回中部電力株式会社社債	日本	1.2
3 第358回中国電力株式会社社債	日本	1.2
4	—	—
5	—	—
6	—	—
7	—	—
8	—	—
9	—	—
10	—	—
組入銘柄数	3銘柄	

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注3) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

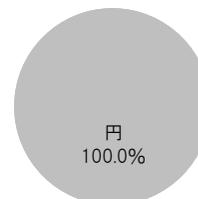
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 基準価額の推移、組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別のデータは2018年9月25日現在のものです。

(注2) 1万口当たりの費用の明細は、「FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)」の直近の決算期のものです。

(注3) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率はポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数の著作権等＞

代表的な資産クラスの騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、SBIアセットマネジメントはその内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数(TOPIX)(配当込み)は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIX に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

○MSCI KOKUSAI インデックス(配当込み、円ベース)は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Index に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCI エマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)は、MSCI inc.が開発した、世界の新興国の株式対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Index に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA-BPI 国債は、野村証券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村証券株式会社に帰属します。

○FTSE 世界国債インデックス(除く日本、円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)は、J.P.Morgan Securities LLC が算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P.Morgan Securities LLCに帰属します。